

選抜区分： 学校推薦型選抜第1期

科目： 小論文

学部： 経営法学部

[設問2] 出題の意図

学校推薦型選抜の主旨である「受験者個人に合わせた入学前教育及び初年次教育を展開するための資料」として活用することから、高校「公民科」で獲得が期待される社会科学的な素養を問う出題内容とした。

この課題文の読解をとおして、法律や規則、明文化されていないマナーまで、社会には様々なルールが存在しているということを再認識する。また、そのことを分かっていたとしても、「ルールを守れ」の声に息苦しさを覚えることも事実であろう。そう思わせる背景を自ら考え、「法とは何か」について思いを巡らせる契機としたい。

また、この小論文への取組が端緒となって経営法学部のアドミッション・ポリシーである「旺盛な知的好奇心をもち、自ら積極的に学修や研究に取り組む意欲をもつ」人材として、真摯に学ぶ姿勢が涵養されることを意図している。

[設問2] 評価の観点

論述内容については、課題文を踏まえた明確な根拠に基づく記述になっているか、客観的で説得力のある前向きな意志を感じさせる記述になっているか等を評価の観点とする。